



ともに生き ともに創る 彩りのまち調布



令和6年(2024年)
No.1764

6/5

市報

ちようふ

CONTENTS(主な内容)

令和5年度 下半期の財政状況	3
令和6年度 市民プールの開設を中止	4
7月7日(日)は東京都知事選挙	4
調布市環境フェア	12

第39回

調布花火 2024 開催決定

協賛募集

9月21日(土)

開会式/午後6時(予定)
所多摩川周辺 ※荒天中止

打ち上げ/午後6時15分~7時15分(予定)



問 調布市花火実行委員会 ☎042-481-7311

調布花火の協賛募集は2面をご覧ください➡

手をつなぐ樹 443



無邪気でいられたら

私は、ほぼ毎日8時半頃に市役所に登庁する。そして、外出の予定がなければ一日中役所内で執務しているわけだが、ときに所用で下に降りることもあり、その際は、当然市役所前広場を通ることになる。

そんな時、たまたま近くの保育園の園児が散歩に来ていることがある。銘々が鬼ごっこのように駆けまわったり、季節の花を愛でたり、友達同士で笑い合ったり、その無邪気な振る舞いのなんとも可愛らしいこと。

自分の幼少期の記憶はかなりおぼろげだが、自然にわが子の幼いころをその情景に重ね合わせたりしてしまう。

邪心がないことを無邪気と言うなら、人間はいつからその邪心(よこしまなころ)を持つようになるのだろうか。

駆け回る彼らには、先行きの人生における大きな不安など無いに違いない。そして大人たちは、この幼児らがいつまでも幸せな日々を送ることを無意識に望みながら、彼らを微笑ましく見守っている。

今年も、犯罪、非行の防止および犯罪者の健全な社会復帰の手助け(更生保護)を目的とする社会を明るくする運動が全国で展開される。

無邪気な幼少期以降、誰もが紆余曲折を経て人生の歩を進めていくことになる。縁あって居住したまちの温かみにほっと癒される。そのまちは、困っていることがないか、自然にみんながひと声かけ合う。いつまでもそんな調布であり続けたい。

調布市友

友貴樹